- グルトと世界遺産を有する東欧の国





4月14日(土)

2 0

0

7

· 年度

「総会

8

開

広島市留学

会 館

会

初

代会長ら

勇

退

U

新

役

員

体

制

で

出

発

し副常

第3次・ブルガリア訪問団の派遣

HIROSHIMA-BULGARIA <u>ASSOCIATION</u>

新役員の抱負



を合

わ

せ

て

然 皆は

る

交 自

流

活 美

動

ガ に

て りと、 力 で を U

き

た さらな 解 に長

きた。

後

2

踏

み

は少国

b

同

いとがりの ブと理ア団

寺代 古田満和己表理事 今会 村 長 功



え特 い交のい が足と第 き流平き て、 徴 1 た を 和 て 次 い貢 明 集 団 献 揮 教る 。入東ブ 今れ欧ル < 指 活 育 U 育・文化・経済へ楽しくブル! 動 導 τ 体 のガ を IJ 制 の ア を Ŧ ブ訪 取 ッ ル問 ij 展 済 しん国ガ団

み 発ん な が 主 役 各 自 ガリア **|** の λ 開 な 個 تع れに性 b てのとて加

長に

今

村

氏

代

表

理

事

に

寺

 \blacksquare

ター

交の際流を

加

玉

ン 郷 推



高専 丸務

佐々木和子副代表理事



が — I) ゅ 素 興 で、 に入った。 協会創設 流 注 員 組 っ 晴らが たい ガ 6 目さ てブ に力 に Ь IJ 立な な で 沸中で いこと U 場 ま ル を れ き 設 つ で、 だプ l١ ٦ たこと て た。 ガリ 時 思 れ の に 交特がが、 ŧ 1111 る。 。 ブ ア 間 て 参 侵を生が ブル 出 ま ع か ル 加 を す 活 IJ ٦ 5 ガ の 仕 き U ガ ア 綴 の 動 れ IJ 相 た 事 IJ か IJ で を 今 ア 互の早 L١ か ァ 進 U 女 た つ も理合 後 ゃ て、 さ料め 性 **ത** E解い 3 5 τ 理 のて UE 間年 発 にに行ブ目分 済展の取を 目

月 2 今 佐 でさらに副会 理 ٦ 理 を 村 れ Þ 補 事 ひ 会長 で、 木 8 슰 3 充 和 を b 専 日 子常 は務 会 開 ŧ た き 新 理 任 活 事 体 ブ の代理 ゃ 新 制 ル ۲ 動 副 事 語 が 体 表 副 の ガ 代 制 を 代 多 理 第 IJ 表 岐 が 事 選 表 1 ア て 理 ١J に 整 任 理 回 協 事 渡 副 U 事 会 る つ . た る 代 たに常 は 任 4

第 常 任 理 事 会

4月28日

副

代

表

理

事

に

佐

々

木

2007#

高丸常任理事の進行役で進められた「2007年度・総会」(2007年4月14日

ひろしま・ブルガリア協会は、2007年度・「総会」と 「ブルガリア料理教室」「ブルガリアの料理とワインを 楽しむ会」を4月14日(土)13時から、広島市留学生 会館で開催した。今回の総会は、2年に1度の役員 選出総会に当たり、新役員として会長に今村功・前 専務理事、代表理事に寺田満和・前常任理事、専 務理事に 高丸晃・前常任理事が選任された。これ には、広島市平和推進部から国際交流担当課の 松本徳男課長や財団法人・ひろしま国際センター と今後の活動の活発化への期待のあいさつをし

から交流推進課の本郷佳加課長が駆けつけ、激励 た。(関連記事2,3、4面) 専 務 理 事 に は 高 丸 氏

活がさはキ度い木長

度 0

活 7

動年

児ブ

童ル

養ガ

贈開

呈催

にブ て進任進行理 まず ン 次 晃 加 続 発 6 れじ ア さ典が次し 休会 今総 化 め 黄 つ明欠いた他憩 長 る で Ē Ĵ٧ し代席 をと 金 薦 あ が常年 さ ま め役事佐 た 日 で て と 本 展 を 各 が らなる でに ること 会高が丸 6 (す 々 れ 副 事 木 進任度 ガ 表 の 者 (財 財 ・ 変え IJ 2 理た海 の 丸 行 理 役進 提 た議務和役事総 紹 地 ア 0 事め生 新 た活介で広の。動し開島ト ٤ ひ ع 0 出 役 員 行 長局 がに直 員子議事は 3 U 8 改役 佐人 を員 のな催をラ年あ々会 要の途選か が て 務高

請自中総ら

協たな佐海村 会後が々 生新新 の ら木 氏 会 役 ۲ 活 感 氏 長 員 軌謝の前 はぁ 動 道の功代 ιl に 意 績 表前さ を を理会 層 乗 つ 表称事長で つ 活たしえのの今

瀝進岐際平後発 に交和は化渡流・集し しめ たた ίĺ 教 団 τ る 活貢 育 指 い 動献 き 導 など 決 を 経体た 意 地 済 制 ١١ を 道の • で に多 玉 今 披

れ 長つが 択 行 読 幹 報 事 事 紹 推 良 谁 業 Ĵν さ 介 進 わ • 事 告 祝 徳 課 つあ 報 の 電 に ガリア 松 あ 長 れ れ (久繁礼子 尾 告 期 玉 た。 0 後 ۲ 2 健監 6 X 待 る 際 広 **今** を ع 疑 司 查 年 つし 交 0 ッ 東 度 セト の 流 報 村 6 寄 欧 市 交流 事 告 . 専 年 せ の 注 担 後 (D) 会 計 会務計理 当 度 ジ た。 玉 目 松 課 の ഗ さ 本

賛意 が 田 き 会長 <u>の</u> 出 理 続 満 薦 の の 休 の 場 事 l١ 推 選 な 事 憩 Ē 役 ŧ い そ に τ 薦 出 を とで採 寺田 · 今 村 前 の 会 が 理 に 致 た の 挟 副 推 長 で め 他 あ 事 h と代 満 功 代 ij ij に 承 に 薦 で 認 推 和 氏 表 で 決 常 さ 両 薦 氏 ` 理 表 全 任 ŧ 新 代 藤 理 引 員 n 氏 者 を 事

護り 施ア 設語 へ教 薬室 のの

たが、満

発行者:ひろしま・ブルガリア協会 732-0053 広島市東区若草町26-4-1008

編集者:協会ニュース編集室 FAX:082-261-4877

hba0578@ybb.ne.jp TEL:080-1903-1754 (今村)

みんなで推進しよ



2

0

0 7

年



「みんなの力を合わせて交流活動の活発化を」とあいさつする今村会長 養 爆 団 専 副 代 た 護 展 指 務 代 表 今 ナ の贈

派 呈 2 を 図 期 の遣 施 の 導 理 表 理 村 役 り活 日設開 体事理事 開 会 員 述 た動催経本 \wedge 催制 6 事 お 済 語 の 変 セ 教薬 では、 いの 佐 就 た <u>ا</u> 薬児 活 寺 任 童原集丸



高丸専務理事 佐々木副代表理事

新体制で多角的な活動の推進へ



新役員 が 抱

負

本郷交流推進課長



松本課長 来賓の広島市国際交流担当課の松本課長と (財)ひろしま国際センターの本郷交流推進課長

度 総 は、当協会の更なる発展と活動を、と激励した。



「皆さんのご協力を」とあいさつする佐々木副代表理事

認 疑 予 会 通し活理 さ応 計幹次り 動事新 れ答 報事い採質方が 体 択 疑 針 が で 制 ا 2 2 さ応し 2 0 0 0 下 **(**案 原 繁 0 0 の 0 案通 明 0 6 礼 後 7 を年 7 年 子 丸 IJ 年 度 原 発 度 専 承 質 度 会 案 務 表



2007年度・活動方針(案)を発表する高丸専務理事

動方針 2007 年 度の活

5 3 6 、)理 、、会の 、国 ` 4 IJ ` 会 教 B実チ法□料第月ア第○解第の授神内 ・戸活 種施ヤ人の理6の料5 。講 3 開 リ会開と回総理 座期催夫大動 ・ (孝っ) 妻学v 親 テ員催り · 会教 6 _ 「時室回 ブ、」 1 1 の 睦 の「4とフ開ブ月のル ĺ 会 バ員 をル1の ¬ 楽ガ2 開ブ 催ル2交ガ **I**の ____ ガ 8 流 リ 9 リ 日 懇 ア 開 ザの ĺ 增 催 しり月催ル ル員 むアしんガ 月アン談人



07年度・予算(案)などを発表する久繁会計幹事



トラキア黄金展の開催 の紹介と、さらなる活動 | の活発化を、、と佐々

木·前代表理事 長 は、 協 会

みんなが主役、各自の個性、特徴を発揮し

の 度 第 素敵な出会いと素晴らしい思い出つくりを 2 る といをう献際なつしい素を個役 訴交解遺ど爆そ述き確モを交がくいと敵発性 活 当 Ь え流し産のやしべた認ッ」流らり思素な揮 動 な た たをて」 「戦 「戦 て た い し 負 争 、 。 、 て ۲ ・、をい晴出し特自 を が IJ ^I い貢国し出ら会て徴の 7 再

会 会で の ŧ 新会 長に 就 など 任 Ū

3 1 1 、催、国の1催0確、推団 I進 、問 、保ホ進な支 日 児団第のブ外開 本6 リ童 - 3推ル活催 「8「と「 ブ月経作ム 語月ル養の次進ガ動 8 の資 教しス護派・ IJν ル 3 済成ペ 調金 T) キ施遣 ァ ガ 0 セの 査 確 師 ミ推ジ で ij 日 、保 派 (6 ル ナー 遣 の ア 進作 依の の聖月ガ 事 原 語 。成 頼た 業 薬 1 -IJ 爆 教 要 なめ どの のヴ ア の 展 の 員 室 贈 ア の財 推 訪 開 開 の

新会員紹介

木村美希·日本語教師、碓氷芳雄·広島市会議員、金行悦子·学術博士、田中 武·大学准教授、 川越明子・元青年海外協力隊員、 計 8 5 人・法 人 (07 年 9 月、 現 在)





お気軽にご連絡ください。 全車無線対応です。

中国タクシー株式会社

0 1 2 0 - 8 8 7 0 4 0

ブルガリア人による



講師:リュボフさん

「ブルガリア語教室」 毎月、第2木曜夜と第3日曜昼

場所:(財)ひろしま国際センタ

広島市中区 082-541-3777

2007年7月1日~

・タルノヴォ市での「被爆写真展」

ルガ

リア

理と

イン





総会を記念してのブルガリアの料理とワインを楽しむ夕べには約30人が参加



参加者の全員が自己紹介とブルガリアへの思いを熱く語り、和やかに歓談した



語 る藤田常任理事



る 三島常任理事



ブルガリアの料理とワインが美味しいと語る初参加の木村さん

初参加 Ø お 嬢さ Ь

料理つくりを担当した藤田さん

この1年を振り返って楽しく歓談



初めて参加した若い女性に協会の説明をする今村会長



手づくりキーホルダーを提供してくれる佐藤理事ら



カラー印刷でお世話になっている北後幹事



新役員体制を温かく見守ってくれる佐々木前代表理事(左)



し 魅せられたと語る永田さん

設

長

と子治り・・



協会に支援の手を差し伸べてくれる法人会員の達川代表取締役

法幹 理 人事会補 事 事 補 員

子美子武子造と順司

教海教士会代准員

師外授

協

力

員

み

議表教

員 取 授

学博紀織

イ会会新広主

京イ

長

口表員東ザ

事查幹 事 事事事事

ゴヴ 一江代浩俊児恵雄勇子治代三裕晃和和功二明夫雄 子 子 ・子 員員局プ 員授表准会局務表語問職長語 S 長 取教議顧所取教 教 代 締授員問職締師 師 表 日 役 員 役 大使

役 役員 別 5 0 音 7 順 、年 숲 0 8 月 2 人 7 社 現 在

ひ

3

ま

ブ

ル

ガ

IJ

ア

協

会

みんなが主役

別の日の財産の対象を

ひ

3

セ

ア

プ代

デ取

役 社

구

ス

ハリアンジャパ島修道大学 国タクシー ㈱

パ

振

所構

(株)(株)西

メ安武 ン芸ト

ンテック 芸管理: $\overset{\smile}{\mathcal{V}}$

サー機

ビ広

(株) 産

> 特徴、特色を発揮して、素晴らしい出会いと素敵な「国際貢献」を 各自の個性、

理監会





は界 7 文 か化 ガ IJ 所遺 ア 探

訪

< 2 >

< 自然世界遺産 >

ピリンの国立公園 スレバルナ自然保護区(ペリカンの繁殖地)。 < 文化世界遺産 >

(1)ボヤナ教会。(2)マダラの騎士像。(3)トラキア人の墓。(4)イヴァノヴォの岩窟教会。 (5)リラの僧院。(6)古代都市・ネセバル。(7)シュヴェスタリのトラキア人墓地。



文化世界遺産・ボヤナ教会

文化世界遺産のボヤナ教会は、首都・ソフィアから南 西に約8kmのヴィトシャ山(標高2290m)の麓の静かな森 の中にひっそりと建っている。11世紀の創建され、その 後、13世紀と19世紀に増築、現在の形となった。

教会は、レンガ造りの2階建て位の高さで大きくはない。

写真(右上)の左端の部分が11世紀

5 ヴ

かエリ

のコ

界タ

遺ル

た黒海で

沿初

岸のも原

問展

に創建された建物で1259年に画かれた内部壁画のフレスコ画はユネスコの』 世界遺産に登録されている。中でもイエスと12使徒を画いた「最後の晩餐」 は、各自の表情が違い、生きいきと表現された傑作として知られている。

観光客は増え続けているが、教会内に入れるのは1度に10人で10分間と制 限されている。これは人が多く入りすぎると呼吸や体温などで室内の環境が! 変わり、壁画を傷めるから配慮している、という。

当 を の 市 中 協 加な 义 日初昨 で 費は約 숤 る 本 の 年 ŧ などこ に τ ヴ 原の ブル 爆 しし カ エリ 4 ザ 連 展 れ ン \exists 絡 ガ を ij 万円 ラ ŧ 開 だ で ァ 催 ッ タ 友好 以 ク ð す ル 希 上 る 市 望 の 協 予 に ヴ 会と 者 重 定 次 **オ** 厚 で、 L١ 市 は ŧ な で で め 同 内 交

第3次・ブルガリア訪問団を募 程:6月18日~ 日 2 6 日 参 加費 約 4 5 万

者を ٤ 世ル 岸 ヴ 協 か ァ اتا 界 オ 市 ル 今 会 を 薬 6 V 遺 あ ス 募 に は は 市 3 ハキ児 ヴ は、 問 第 産 じ 贈 って L る など ェリ め 世 ル 呈 現 団 3 ŧ 界 ゃ 童 る セ 聖 ١١ 在 次 を か 遺 \exists カ 養 1 ま を ブ 市 6 ヴ 訪 所 産 ザ 護 す 訪 派 月 ル ヺ 黒 タ ア 問 以 ネ 問 遣 ガ 施 1 É 上 セ 海 ル 設 ン 希 す ル 8 IJ バ沿 る ァ J 望 ガ 日



|の 中心者 ・佐々木副代表理事が「お味はいかが?」と



久繁会計幹事の話に藤田常任理事も思わず笑顔に

この1年を振り返って楽しく歓談



環境問題に造詣が深く 理論派も、この日は笑顔 とソフトに語る松尾理事

初参加の若き女性は、 ガリアに興味を持ちましたと



ローズオイルに関心 があり北後幹事に誘 われて参加した亀山 さん

日本語教師をめざ



ご支援金は、下記、振込みへ

郵便振込 0 1 3 4 0 - 5 - 8 3 9 2 4 ひろしま・ブルガリア協会 宛に

2 写様 役会ま す会 れ佐直を リ原会いし のもし訪教 の模理真 さ ガ験 き < 編集後記 ア爆の た 員 長 。 は ` ŧ だ ラ る τ 力拡た問会 4 様 ۲ を 6 0 真と う IJ ゃ U 員 ま Þ 人引 ٤ 団と ワ 中に心、 ア 要し木様き け ン多ル語展事 ッ充 で 面と 0 を新 た本 ᅔ と績第 テ 岐 トし協の第文に新ィ心 7中役回と 、≑ `教 開 業 τ 選

当同職た典に深を。明 と受年し年、け間た度 3年心員の決のの2 「田総に深面度にの1意友上期第新会あく τ に経室催がるい ŧ て会募3化は役 た。度 なり つの 方 に 期 0 会 は ァ 、でる増き 二集次世 「員を ブを楽 を 務お様初てだ 号 繎 め二が代いけ てとも代だと いにも代だと チ えた、お 界 まのる ブ での総抱面し好には1代のり セ す 구 感 当 は矢 会 _ブ ル お 記 遺ル紹 Ū は活会負で合交 ٦ 期表席が スの ャ 島 謝 忙 のた 今 立 早 ത 、、お 「 記 「 遺 ル 絽 し フ と 紙 陰 ス 事 ブ 産 ガ 介 む ル ガし ナー で 、動の はっ流更れで理上 ٤ IJ ガしと紙 除 ス 尹 ィ 左 に リ か 自 面 で の を ル の リ タ ガ 同 方 楔 ィ 総 に に ア し 負 が 、編 載 ガ ボ ア 最 ベ リ じ 針 様 面 会 い 展 ー 一 年 サ リ ヤ 探 終 こ ア 〈 を と に の ま 開 U で し 特 る □ し ガ同方模2総てをなま基事でう テ の τ たはに 表い初 い集 2 は て もし で礎な付ざ 協 2 勇理た代のに フ 多 の る おだ イ | フ 0 通 役 3 D き年退事海会 力が ブ ルで < 開 IJ で U 0 員 算年 で 絡い必の催バガの協 実真員まアナ訪面の料写 、は模し しル経で新新いま協近さの生長 1 τ ŧ 7 改 第目 当の

長: 今村 功・HIES代表 代表理事:寺田 満和・広島アレルギー呼吸器クリニック副院長 「協会」役員 副代表理事:佐々木 和子・日本語教師 専務理事: 高丸 晃・(有)巴紙工会長

お薬から訪問介記 サービスまでお任せる

(有)ヤマオコーポレーション

薬剤師募集中

訪問介護、福祉用具貸与、デイサービス寺小屋チャオ、ひとみ薬局

広島市南区翠 082-250-9805

